

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52308	保育内容(表現) Expression through Art and Music	本多 峰和			1	必修	1年前期

科目の概要

子どもたちは音やリズム、形や色などを使い、遊びを通して自分の気持やイメージを表現する。そのような子どもたちの表現活動の特徴を踏まえ、音や動きを伴う表現を理解するための基礎を育む。また、ピアノ曲の演奏やバレエ、ダンス、有名な絵画作品など、さまざまな芸術作品を鑑賞し、表現に対する視野を広げる。さらに多様な視点から音楽表現を捉え、保育者として必要な感性を養う。これらの学びの過程で課題を発見し、修得した知識や技術を活用し、自分なりに課題解決できる力を身につける。(D.P.②③)

学修内容	到達目標
① 領域「表現」についての考え方を学び、表現を理解する。 ② ピアノの歴史を学び、表現の視野を広げる。 ③ 著名なバレエやダンス作品を学び、表現の視野を広げる。 ④ 遊びを通した子どもの表現の特徴を理解し、保育者としての視点を養う。 ⑤ 子どもにとっての音楽表現活動とはどのようなものかを理解する。	① 保育内容表現の基本を理解することができる。(D.P②.③) ② ピアノの歴史を知り、ピアニストによる演奏を視聴し、よりピアノの練習に励み保育現場でのピアノの活かし方を考えることができる。(D.P.③) ③ バレエやダンス作品を手がかりに、子どもの発達を踏まえた動きを考えることができる。(D.P.③) ④ 保育者として、遊びを通した子どもの表現の特徴を理解できる。(D.P.③) ⑤ 子どもにとっての音楽表現活動とはどのようなものかを自分なりに説明することができる。(D.P.③)

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例
---------------------	---------------------------

前に踏み出す力	主体性	授業の中でわからないことや疑問があればそのままにせず質問して解決することができる。
	働きかけ力	グループワークの際は、積極的にクラスメイトに働きかけ行動することができる。
	実行力	提出物は期限内までに確実にやり遂げる。
考え抜く力	課題発見力	科目に対し、どのような姿勢で取り組みればよいかを考え行動することができる。
	計画力	限られた時間内で能率よく行うことができる。
	創造力	固定観念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。
チームで働く力	発信力	自分の感じたことや、考えをまとめることができる。
	傾聴力	大事なことはメモを取りながら聞くことができる。
	柔軟性	自分と異なる意見や考えを理解することができる。
	状況把握力	良い授業を作り上げるため、クラス全体の状況を把握することができる。
	規律性	遅刻、無断欠席など、学修意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようにルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	課題に対しストレスを感じることなく前向きに取り組むことができる。

テキスト及び参考文献

テキスト：必要に応じて、適宜プリントを配布します。

他科目との関連、資格との関連

他科目との関連：幼児表現(音楽Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、)、子どもの音楽表現
 資格との関連：幼稚園教諭二種免許状、保育士資格

学修上の助言	受講生とのルール
--------	----------

保育者になるという強い自覚をもって取り組んでほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・20分を超えた遅刻は、欠席扱いとする ・すべての提出物を出さないと及第にならない。 ・提出期限に遅れた場合はマイナスに評価する。 ・授業態度が悪い場合はマイナスに評価することがある。 ・遅刻はしないこと。遅刻が多い場合は、欠席に換算することがある。
----------------------------	---

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験	0	①				
			②				
			③				
			④				
			⑤				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
				⑤			
		レポート	45	①			・毎時間、気づいたことや、学んだことを授業レポートとして提出し、評価する。 後日提出したものは、80%の評価とする。
				②			
				③			
				④		✓	
				⑤		✓	
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	45	①	✓	・子どもにとっての音楽表現活動とはどのようなものかを自分なりに考え、レポートにまとめる 後日提出したものは、80%の評価とする。			
		②	✓				
		③	✓				
		④					
		⑤					
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	（主体性）授業の中でわからないことや疑問があればそのままにせず質問して解決することができる。 （実行力）提出物は期限内までに確実にやり遂げる。 （課題発見力）出題された課題に対していかに取り組みればよいかを考え行動することができる。 （創造力）固定概念に捉われることなくいろいろな方向から考えることができる。 （発信力）自分の感じたことや、考えを表明することができる。 （傾聴力）大事なことはメモを取りながら聞くことができる。 （規律性）遅刻、無断欠席など、学習意欲欠如をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守るすることができる。欠席した場合は、欠席届を提出し、フォローレポート課題を行う。		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
			⑤	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
的確に授業内容を理解しており、多様な視点から音楽、動き（ダンス）を捉えることができる。また保育現場において子どもの音楽表現の活用法を考えイメージすることができる（S）。授業内容を理解しており、多様な視点から音楽、動き（ダンス）を捉えることができる。また保育現場において子どもの音楽表現の活用法を考えることができる（A）。	授業内容を理解しており、音楽、動き（ダンス）について考えることができる（B）。授業内容から音楽、動き（ダンス）について考えることができる（C）。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	オリエンテーション 保育における「表現」を知る。 NotebookLMを使い自分の考える「表現」をまとめ、保育における「表現」とは何かをグループで話し合う。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	講義内容とNotebookLMでまとめたものをもとに、自分なりに理解を深めながら、保育における「表現」とは何かを今後の授業の中で考えることができる。	(予習) (復習)配布プリントで復習をする。	90	主体性 課題発見力 規律性
2	コミュニケーションとしての音楽を学ぶ。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	音楽を感じながらコミュニケーションができる。	(予習)好きな音楽を聴く。 (復習)音楽におけるコミュニケーションを考える。	90	実行力 創造力
3	音楽の起源を学ぶ。 民族音楽を知る。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	様々な音楽に興味を持ち、音楽の世界を広げることができる。	(予習)音楽の起源について興味を持つ。 (復習)音楽の起源について理解を深める。	90	実行力 創造力
4	ピアノの歴史を学び、 古典派、ロマン派のピアノ曲を学ぶ。	講義 各自のパソコンで関連動画を視聴する。 フィードバック (プリントのフィードバック及び解説)	ピアノの歴史を知り、さらにピアノを身近に感じることができる。 ピアノ曲に興味を持ち、学んだことをピアノ演奏表現につなげることができる。	(予習)西洋音楽に興味を持つ。 (復習)ピアノの歴史について理解を深め、ピアノ演奏における表現方法について考え、保育現場で活かすことができる。	90	実行力 創造力
5	サウンドスケープ〔音楽的視点〕。聴き方の幅を広げる。	演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	身近な音に気づいたり発見することで、「音楽」を広く理解することができる。また保育現場での音環境にも配慮することができる。	(予習)日常の様々な音に興味を持つ。 (復習)日常の様々な音を聴き音環境について考える。	90	実行力 創造力
6	ブラインドウォーク〔身体的視点〕。身体全体で小物打楽器の音色の違いを感じ、聴き方の幅を広げる。指先、つま先を意識したポーズ遊び。	演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	身体の感覚(五感)を再確認することができ、日常の様々な音に気づくことができる。身体全体を意識したポーズを考えることで、子どもの多様な身体表現を理解し、保育現場で活かすことができる。	(予習)五感に興味を持つ。日常の動きに興味を持つ。 (復習)五感について考える。日常の動きについて考える。	90	実行力 創造力
7	幼児曲について理解を深める。	幼児曲を題材に、作詞作曲者、曲の背景を知る。そして五感や身体を使ったアプローチなどを考える。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	(予習)好きな幼児曲について自分なりに理解を深める。 (復習)「どんぐりころころ」の歌詞の確認をする。	90	実行力 創造力
8	バレエを学ぶ。	講義 各自のパソコンで関連動画を視聴する。 フィードバック (プリントのフィードバック及び解説)	チャイコフスキー3大バレエ作品それぞれの振り付けや解釈の違う作品を知り、保育現場でのダンスの創作や、子どもの表現活動に活用できる。	(予習)身体表現に興味を持つ。 (復習)身体表現について考える。	90	実行力 創造力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	コンテンポラリーダンスを学ぶ。	講義 各自のパソコンで関連動画を視聴する。 フィードバック (プリントのフィードバック及び解説)	イリ・キリアン、ピナ・バウシュなどの芸術作品を知り、保育現場でのダンスの創作や、子どもの表現活動に活用できる。	(予習) 身体表現に興味を持つ。 (復習) 身体表現について考える。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性
10	図形楽譜を小物打楽器で再現する。	講義 グループワーク フィードバック (演習の評価)	図形楽譜を手がかりに小物打楽器の音の特徴を捉え、保育の活動に活かすことができる。	(予習) 小物打楽器に興味を持つ。 (復習) 楽器の起源について考える。	90	主体性 実行力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
11	手遊び・体遊びを学ぶ。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	様々な手遊び・体遊びを覚えて発表し、保育の活動に活かすことができる。	(予習) 手遊び、体遊びを調べる。 (復習) 手遊び、身体遊びの復習。	90	主体性 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
12	「遊び」について理解を深める。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	健康・運動、自然・環境、言葉、等に関するあそびを実践し、子どもにとっての遊びとは何かを考える。	(予習) 「遊び」とは何かを考えてくる。 (復習) 「遊び」をさらに深く理解する。	90	主体性 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
13	手づくり楽器(太鼓)を制作する。 手づくり楽器(太鼓)でアンサンブルを発表する。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	楽器の仕組みを理解し、音への意識を高めることで、日常の音から音楽的要素に気づくことができる。	(予習) 手作り楽器について調べてくる。 (復習) 制作した太鼓の音を理解し、音への意識をさらに高める。	90	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 柔軟性 規律性
14	手づくり楽器(太鼓)を使った音遊びを考え、指導案を作成する。	講義・演習 グループワーク フィードバック (演習の評価)	手づくり楽器(太鼓)を使った音遊びを考え、指導案を作成することができる。	(予習) 手作り楽器(太鼓)の音の出る仕組みを理解し、音遊びの活動を考えておく。 (復習) 制作した指導案を振り返り、活動内容やねらいが適切かを確認し、改善点を整理する。	90	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性
15	領域(表現)「ねらい」「内容」「内容の取扱い」について理解し、子どもにとっての音楽表現とはどのようなものかを考える。	講義 講義内容を理解し、レポートを提出する。	子どもにとっての音楽表現とはどのようなものかを考え、自分なりにまとめることができる。	(予習) 子どもの様々な遊びから音楽表現に興味を持つ。 (復習) 領域(表現)について理解を深め、子どもの音楽表現について考える。	90	主体性 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力